



市制準備の平町

平窪村の合併懇談

打融けた語りひに相當の效果

去る廿六日鯨岡鑛泉で

平町が市制施行の爲め合併交渉に最も深い接近を見せている平窪村との懇談は去る二十一日でも早より以上の文化向上の諸施設を望むが爲め、他意なきを述べ平窪側からは平町の財政経済と合併後に於ける擔稅關係等について實に備され當日の炎暑に全く羽織袴を脱いで汗を除きながら文字通り打融けた懇談を交はされたが両者の意見の交換は草野平窪村長の挨拶から井上平町會議長の合併提携有利説次に

綴高 縣道編入祝賀會

來八月上旬内郷座に於て

石城郡内郷村地内縣道から箕輪村高野鑛泉入の湯に至る綴高野線は沿線郡民の宿願を達して本年四月二十七日告示縣道に編入され延長約二里の間に目下工事中の入の湯手前工費三千圓の施行後約四千圓を

鯉漁漸く活況

漁場は金華山沖

最高は既に一萬九千圓を漁獲

昨今の相場は百目四割

本縣の鯉漁は海水温度の上昇遅れから不漁をかこたれてゐたが本月中旬以來漸く豊漁を迎ひ小名濱その他水揚げに賑

日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七
日刊 日八十二月七

常識講座

エレメントは元素または要素のことだ、見透し得ないエレメントと云へば解求し得ない其の態形と稱した様なもの、エレメントは原理、エレメントは最初の踏み出しの事

仲の作港荷揚場

二百四十坪を舗装

今日知事宛認可申請

石城郡江名町の作港の荷揚場は泥濘甚だしく車馬の交通を阻害するに及ぶが、江名町長が工費二千圓を申請し、今日知事宛認可申請を出した。

幕末回顧八十年史で

畫報販賣業の詐欺

賣つたものを借り出したり 手付金の名で騙る

平町字仲間町五六居住者藤原實業佐々木雄七(三)は本年四月石城郡四倉町の木町柏屋旅館主小澤宗吉氏方に至り幕末回顧八十年史一巻二十四部を二十四圓で買却代金全部を受取つた後同町小澤校が注文を取見本にしたから一寸借して呉れと持去つたまゝ現品を返さず各所を此の手で荒してゐる詐欺事件を發覺する二十七日平町に検査取調の結果向手付金と稱して騙取した數件を白日した。此の外高額の半々年並びに一月年契約に月三十五圓を三十圓に割引すると前掛ひを受けて配付せぬ詐欺もあるらし引續き取調中であるが被害額數百圓に上ると見ら

平防護團の幹部會

來る廿九日結成式の準備を協議

平町では今秋行はれる防空演習の爲め去る二十五日防護團の協議會を開き常任委員に町青年學校長、青年團長、軍人分會長、同郡聯合分會長、平野署長、大日本電氣營業所所長、町内三方部に左記部長及び副部長を決したが來る廿九日午後一時町會議事堂に幹部會並に委員會を開き細部に互に班及び係の人選と規約の制定を附議結成式の膳立をなすと

鰐ヶ淵の同性自殺

十二日目で浮上る

根本貞義と柴澤光雄

昨二十七日飛込んだ場所へ

平町の才小路二九番吉長男根本貞義(二)が同町職業紹介所の給仕中四家所長の職印を盗用して平野民庫から二百五十圓を引出だし該金を各地を遊蕩の末七月二十六日正午頃前日誘ひ出した後、知友同町水道部の常夫字柳町一八彌一三男柴澤光雄(三)を道伴に双葉郡久の濱町波立薬師海岸へ飛び込み同性心中を遂げたことは既報の如く當時死体発見されず、だが昨二十七日正午頃恰度死後十二日目で淵の中に浮び上つたのを海水浴中のものが發見四倉署の検視の結果兩人と判り即日家人を呼んで死体を引渡された。

衛生設備

ラヂオ備付

平第一、二校(千七百六十圓)の寄付

平町第一、二校通學區内父兄に於て寄付する兩校の衛生設備とラヂオ各一台の備付は今夏休業を控へて急設の管だが費用は兩者で一千七百六十圓を要する由

岸浦認可

江名町の新字

海岸埋立地三千二百八十三坪を

石城郡江名町では海岸埋立地三千二百八十三坪を岸浦と名づけて、石山商店會計部から一寸持つ

藪醫者の

筒氣焰

夏休み癡止論(中)

大森 勇

非常時だ、と警鐘が亂打されて既に數年になるが、世の中の東西南北何れの方向を眺めても非常らしい光景は一つも見出されぬのは不思議でならない。先望の徴兵検査の際警備官がある壯丁にお前は如何な運動をしてるか聞いた

家出の若妻

夫から搜索願

東京市王子區上十條町九八七武後妻石城郡小名濱町生れ櫻丸(三)は本月初め郷里の實兄志賀重次郎の許に行つて來ると出かけたまま歸宅しないが知人より聞知する所によれば同町内某カフェに女給をしてゐるらしいからと今二十八日夫武後から平野に搜索方願出た

アダリン多服で

其ま、死亡

石城郡渡邊村の雲野農大竹知雄(三)假名は神經衰弱で靜養

擄奪逃走

頼まれた三百圓

小名濱魚市場で

茨城縣多賀郡平瀧町の大平石山庄太郎方雇人鈴木正真(三)は昨二十七日午前七時頃鮮魚買出しのため同僚數名と小名濱町に來て魚市場前に休憩中石山商店會計部から一寸持つ

明雲堂眼科醫院

新妻 幸之助

田町五番地 電話六六九

弊院儀今般都合により三丁目元郵便局裏川岸通りへ移轉仕り從前通り診療に從事仕候間右謹告仕り候

青果市況

平中央青果卸市場(調)

青物	高値	安値
玉葱(一)	〇〇〇	〇〇〇
胡瓜(一)	〇〇〇	〇〇〇
新牛蒡(一)	〇〇〇	〇〇〇
西瓜(一)	〇〇〇	〇〇〇
南瓜(一)	〇〇〇	〇〇〇
丸茄子(一)	〇〇〇	〇〇〇
長茄子(一)	〇〇〇	〇〇〇

今晚も明日も雨の風、晴夕立模様 (小名濱測候所)

ていれと頼まれた現金三百圓在中の財布を抱えたまま逃走行方不明となり目下嚴探されてゐる

中であつたが充分に睡眠をとれないため昨二十七日散歩から歸つた午後六時頃アダリンを飲んで床に就いたところ量過多に誤つたので其ま、死亡し居るを家人が発見大騒ぎとなつて應急手當を盡したが効なく植田署の検視を受く

産業方面

電力の統制に 小社合同

仙台逓信局の設案
國策としての電力統制については逓信省に於て種々考究中であるのであるが東北地方は特に小事業會社が多いので電力供給の合理化は最も焦眉の急とされてゐる、しかも東北振興の建て前から良質豊富低廉なる電力の供給が要望されてゐるものにかんがみ仙台逓信局に於ては固定資本五百萬圓以下の小會社の合同に對して積極的に働きかけるものと見られてゐる、逓信省としては發送會社(發電及び送電)と配給會社の二元的組織とすれば技術的にも經濟的にも合理化が出来ること云ふ意向の如くであつて之れが前提として小會社の合同を望んでゐるのであるが東北の六縣下に於ける電氣會社は、
總數六十五社を數え此の中に於て固定資本五百萬圓以上のものは宮城縣に二つ福島縣に五つ青森縣に二つ秋田縣に二つ山形縣に二つ岩手縣に二つの合計十四社に止まり次いで五百萬圓以下のものは福島縣に二十一社青森縣に三社秋田に四社山形に十三社岩手に十一社の五十二社であつて特に二十萬圓以下のものは福島八山形七、岩手四、秋田三を數えられ需要者側には見えず、不足する電力をば高く使用しなければならぬといふ云ふ現狀にあるので電力の高いことは事業の發展興隆を妨げることが云ふ迄もないでだらうと、(完)

暑中御伺

酒類味 誠屋商店
平町三丁目

鐵道省御用達 イワキヤ便利店
平町搔樋小路

高級パン ベーカリー東京堂
平町搔樋小路三〇

クリーニング 永山洗染舗
平町大町五

平自動車用品商組合

磐城無盡商會

おかや洋服店

相互扶 石城中小商工互融會
代理理事 吉田昌弘
平町字搔樋小路一番地
電話(一〇)又は(〇)二

平町四丁目一四 小野屋藥局
電話 百四十四番
振替口座 東京一九二四八番

(平町) 關内藥局 (電話)
(四丁目) (四〇番)

福島縣 平町 平運輸株式會社

三 製材工場
電話 本工場 三九三番
本店 四三〇番

浪江出張所 佐藤永春
電話 七三三

ワイシャツ
ポイル ¥ 2.30
麻 ¥ 2.40

1937 年型流行手編製
両兼用 ネクタイ
毛と絹交織 ¥ 2.50
本 絹 ¥ 3.00
3.30

正確 体温計
なる 寒暖計 (種各)
計量器指定販賣
平町五丁目角
山野邊藥局

町屋紺平 藤沼醫院
電 五〇七番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町 電話二五八番

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平町新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九一

質屋 高屋茶店
質士之高々
良品廉價
電話 百四十四番

強勉大豚、牛
牛、豚共に(百目)
卅錢、四十錢、五十錢
平町六丁目 大塚肉店 (電話)
五三九
コロツケ(五ツ十錢)
カツレツ(一ツ十錢)

手職を覺へらるゝ
雜務員募集
一、年令十五、六才
一、初給四十錢内外年二回昇給あり
一、平町及附近居住者にして通勤し得るもの
一、最初工場の雜務に従事し後本人の適業に廻す
右希望者は本人直接工場へ御申込を乞ふ
平町新田前
丸ほん家具製作所
電話の御照會は御断り致します

つぼね
大河内接骨院
平町才植小路
電五八八

食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン サロン
平町 電話 352

親切・丁寧・迅速
三拍子揃つてゐる店
能澤の自轉車代理店
【中古車もあります】
馬門自轉車店 平町六丁目

